



真庭市地産エネルギーパーク

真庭市役所

バイオマス



事業の内容・規模

- バイオマス発電(1基) 1,950kW
- 木屑焚きボイラ(6箇所) 31.3トン/h
- 冷暖房対応型温水ボイラシステム(2箇所) 17万kcal
- ハウス対応型ペレット焚き温水ボイラシステム(2箇所) 32万kcal
- ペレット専焼温水ボイラ(2箇所) 50万kcal
- ペレット製造設備(3基) 3トン/h
- エタノール製造実験プラント(1箇所) 2トン/日
- BDF製造設備(2基) 200L/日
- ペレットストーブ等



施設見学情報

施設見学：可(バイオマスツアー真庭)

ツアー日：毎週月・水・金出発 各日実施最小人員20名

連絡先：社団法人真庭観光連盟

TEL 0867-44-4111

(詳細については、ご相談ください。)



バイオマスツアー
ペレットボイラ見学



バイオマスツアー-工場見学



真庭バイオマス集積基地



特長

真庭市内で活用されている、木質系の主な燃料製造・熱利用・発電設備など、地産地消型の次世代エネルギー利用の地域システムをまるごと見学できるほか、マテリアル利用の施設等も含めて「バイオマスツアー真庭」として観光ルート化しています。ツアーは専門スタッフが分かりやすく案内し、真庭市一円をエリアとするエネルギーパークを創出しています。



ここがポイント!

平成17年度までは、バイオマス関連の各企業や市役所がそれぞれ窓口となり、個人から団体までの視察受入を行っていましたが、目的箇所のみの視察で、すぐに帰郷される方がほとんどでした。できれば市内の観光もしていただき、視察先の企業へもメリットのある形がないかということで、企画したのが現在の「バイオマスツアー真庭」です。そこで、新規事業への参入及び人材育成も兼ねて、真庭観光連盟に窓口の一本化を行いました。これにより昼食、宿泊、観光も兼ねたバイオマス活用の地域内ツアーが実現しました。実績としては、年間約2,000人(平成19年実績で2,098人)の視察を受け入れるなど、バイオマスタウンの中でも先進的な役割を果たしています。また、平成19年10月に、バイオマスエネルギー施設をツアー化していることが評価され、次世代エネルギーパークに認定されました。それにより、「真庭市地産エネルギーパーク」として全国的に知名度が上がり、ツアー客も増加しています(平成20年度で2,194人)。

さらに今後、原料集積基地や真庭市新庁舎に導入が予定されている完全木質バイオマス空調システムなど、新たにツアーコースに組み込むことが可能な施設が整備される計画です。これらにより、木質バイオマスの安定的な収集と供給体制が実現でき、市民と民間企業、行政が連携した資源循環型社会の形成が促進されます。



勝山町並み保存地区

問い合わせ先

真庭市役所 産業観光部 バイオマス政策課
 TEL 0867-42-5022 FAX 0867-42-1097
 http://www.city.maniwa.lg.jp/

所在地

岡山県真庭市全域



「エネルギーパーク」とは太陽光や風力、バイオマスエネルギーなど地球環境に調和した将来のエネルギーのあり方を体験できる地域や施設のことです。2009年現在、国は全国で25施設をこのエネルギーパークに指定しました。真庭市はそのひとつとして、全国にさきがけ、地域の取り組みの一部を公開しています。

施設紹介:

- ひるぜんジャーシーランド 舞島
- 高原野菜栽培
- 真庭市 緑山園興行会
- えのき種菌センター
- 冷蔵房対応温水ボイラーシステム (林地残材チップ・ペレット)
- 燃料貯蔵サイロ (木質バイオマス発電) 緑野工業 (株)
- 木質炭き蒸気ボイラ 牧野木材工業 (株)
- BDF製造設備 (有) エコライフ商友
- バイオマス 集積基地
- エタノール製造設備 三井造船 (株) 実験プラント
- 木片コンクリート製品 ランデス (株)
- ペレット製造設備 (株) ヒノキ 留砂工業
- ペレットストーブ 美甘小学校・真庭市美甘支庁庁舎
- ペレット製造設備 総建工業 (株)
- 冷蔵房対応温水ボイラ 「木の駅」藤山木材ふれあい会館
- ペレット専焼温水ボイラ 健康増進施設「水夢」
- ペレット専焼温水ボイラ いちごっ娘農園
- ペレット専焼温水ボイラ 光輝農園 (花行)
- 真庭市森林組合
- 美甘の森
- 真庭の森 百年生の森

図例:

- バイオマスエネルギーをつくる施設
- バイオマスエネルギー利用施設
- バイオマス製品をつくる設備
- 地元バイオマスを活用した地域産物
- 林業の現場



2009年1月現在

「バイオマスツアー真庭」は、平成21年度「第14回新エネ大賞」普及啓発活動部門において、金賞の「経済産業大臣賞」を受賞しました。